

# 秋の上京茶会 11月11日(日)

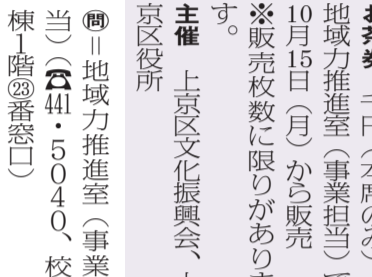
恒例の秋の上京茶会が本法寺で開催されます。  
本法寺は、山号を叡昌山とごい、永享年間(1429~1441)に日親上人により創建されたと伝えられています。



本法寺仁王門

勝たっています。  
また、重要文化財である長谷川重伯の「弘湊繁図」をはじめ多くの貴重な資料があり、京都府や京都市の有形文化財に指定されているものも数多くあります。

日時 11月11日(日) 午前10時～午後3時  
受付は午前9時30分～午後2時30分  
場所 本法寺(小川通寺の内、上る本法寺前門)  
懇話 裏千家



前回の様子

## 上京区民ふれあい史蹟ウォーキング

さわやかな秋空の下、西陣、紫野、北野をめぐる史蹟ウォーキングを開催します。区民の皆さんをはじめ多くの方々のご参加をお待ちしています。



日時 11月25日(日) 午前9時30分～午後0時30分頃まで(小雨決行)  
受付 午前9時30分～10時 西陣児童公園(大宮通上立売上る)  
コース 西陣児童公園～大徳寺～今宮神社～船岡山～建敷神社～釘抜地藏～千本糸んま堂～翔鸞小学校  
定員 200名(先着順)  
申込み 10月16日(火)から11月9日(金)までに「京都いつでもコール」(4面参照)にて受付  
※中止のお問い合わせについては、当日午前8時以降に「京都いつでもコール」にお問い合わせください。  
主催 上京区民ふれあい事業実行委員会  
共催 上京区役所  
※地域力推進室(振興担当) ☎441-5040

古紙・古着を回収します  
紙ごみは京都市が受入れるごみ全体の約分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が課題になっています。区役所では3回、古紙類と古着類を臨時回収しています。回収日は次のとおりです。  
日時 毎月第2・第4水曜日 午前8時30分～正午まで  
回収品目 ①古紙類(新聞、雑誌・書籍、段ボール、雑がみ) ②古着類(上着、古布) ※川上ゴミコンステーション ☎303-0776、校舎棟②(蕨窓口)



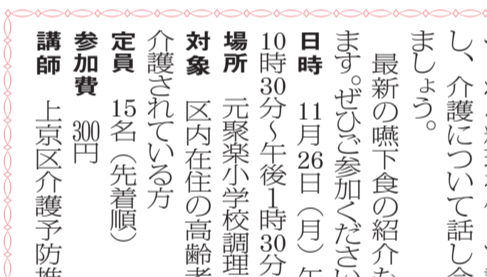
## 上京区 総合防災訓練

災害に強いまちづくりを目標として、上京区総合防災訓練を実施します。未曾有の被害をもたらした東日本大震災のような大地震発生を想定した訓練を通して、自主防災会や消防団、防災関係機関が連携を強めるとともに、災害時の各々の行動を確認し、防災意識を更に高めます。

日時 11月4日(日) 午前9時～正午  
場所 仁和小学校グラウンド及び体育館(御前通一茶下る)  
※地域力推進室(防災担当) ☎441-5036

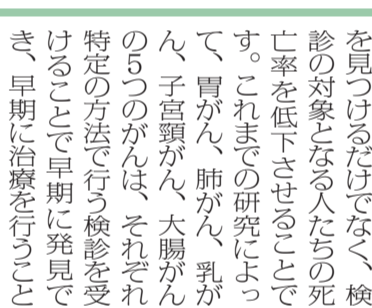
## 上京区交通安全フェスティバル

11月18日(日) 午後1時(雨天決行)から北総交支援学校体育館で上京交通安全フェスティバルが開催されます。当日、さまざまな催しが盛りだくさんです。ぜひ、ご家族でお越しください。  
※地域力推進室(広聴担当) ☎441-5040



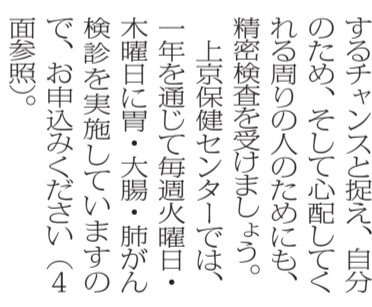
## けんこう情報

がん検診を受けていますか?  
日本人の死因トップはがんです!  
がん検診の目的は、がんを見つけただけでなく、検診の対象となる人たちの死亡率を低下させることです。これまでの研究によつて、胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの5つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見でき、早期に治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明されています。国のがん検診受診率の目標設定値は50%ですが、京都市の5つのがん検診の受診率は約3%、16%とかなり低い状況です。さらに乳がん検診を除いた一次検診受診者の3~4割の方が精密検査を受けておられません。一次検診や精密検査で「異常あり」と判定された場合「がんでは」と不安に感じられる方もいらっしゃいますが、早期にがんを発見するチャンスと捉え、自分のため、そして心配してくれる周りの人のためにも精密検査を受けましょう。上京保健センターでは、一年を通じて毎週火曜日・木曜日に胃・大腸・肺がん検診を実施していますので、お申込みください(4面参照)。



## 区社協通信

② 名前を覚えよう!  
日時 11月17日(土) 午後2時～3時30分  
内容 名前の表し方を覚え、自己紹介をします。  
③ 数字を覚えよう!  
日時 11月24日(土) 午後2時～3時30分  
内容 数の表し方を覚え、買い物ゲームをします。



① 手話ってなに?  
日時 11月10日(土) 午後2時～3時30分  
内容 耳が聞こえない方たちの日常生活について話を聞きます。

## 入学・入所の手続きをお忘れなく

来年4月に小学校へ入学する新1年生の保護者の方へ  
区役所から「入学届」の用紙を、10月22日(月)頃郵送しますので、11月2日(金)までに指定の学校に提出してください。用紙が届かない場合は、市民窓口課記録担当 ☎441-5086、プレハブ棟1階④番窓口へお問い合わせください。  
なお、就学時健康診断の日程については、入学届の提出時に学校にご確認ください。  
※指定の学校又は市教委体育健康教育室学校保健担当 ☎441-5031  
※来年、中学校へ入学される方の入学手続き等は来年1月

来年少しから保育所又は昼間里親への入所を希望される保護者の方へ  
保育所への入所を希望される方には、入所申込書を11月上旬から支援保護課と各保育所(園)で受け付けます。また、保育を必要とする生後57日目～3歳未満児を家庭里親に預かりする昼間里親についても、入所申込書を11月上旬から支援保護課と各昼間里親でお渡しします。なお、保育所への年度途中の入所申込みは、随時、支援保護課で受け付けています。  
※支援保護課支援第一担当 ☎441-5119、プレハブ棟2階⑩番窓口

## 上京区地域介護予防推進センター各種教室のご案内

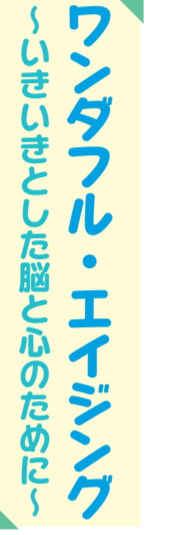
○「いろぼん塾」(運動器の機能向上プログラム)  
①日時 11月6日～平成25年1月29日の毎週火曜日午前9時30分～10時30分(1月1日は休み)(全12回)  
会場 元待賢小学校  
②日時 11月1日～平成25年1月31日の毎週木曜日午後1時30分～2時30分(1月3日は休み)(全13回)  
会場 上京老人福祉センター  
内容 体力測定、ストレッチ、下肢筋力・バランス能力向上運動、転倒予防運動講



## 上京区ふくしをなんでもしっとこ講座 第2回

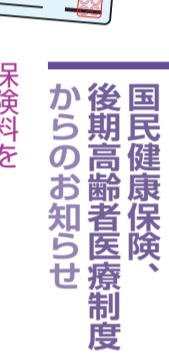
歳をとっているから、新しいことに挑戦するのはもう無理だとあきらめていませんか。人生90年時代を生きる私たちにはまだまだ可能性があります。もう一度、自分の能力を見つめなおしてみませんか。人生の後半をいかに生きるかについて、心理学の専門家からの提案です。

日時 10月21日(日) 午後2時～午後4時(開場は午後1時30分)  
会場 西陣織会館 3階西陣ホール(堀川通今出川南入)  
内容 第1部 ワンダフルな生き方体験 日下菜穂子氏(同志社女子大学現代社会学部准教授、臨床心理士)  
第2部 いきいきとした脳と心のために 土田宣明氏(立命館大学文学部心理学域教授)  
定員 350名(申込不要・先着順)  
参加費 無料  
主催 上京区役所、上京区社会福祉協議会  
※支援保護課支援第一担当 ☎441-5119、上京区社会福祉協議会 ☎432-9535



## 国民健康保険 からののお知らせ

新しい保険証(一人一枚のカード様式)をお送りします。  
現在お持ちの保険証は、11月30日で有効期限が切れます。新しい保険証を11月中旬までに郵送します。新しい保険証が届きましたら、①保険証の記載に誤りはないか②他の保険に加入した方や住所を変更した方についての届出を忘れていないかをお確かめください。  
※保険年金課資格担当 ☎441-5030



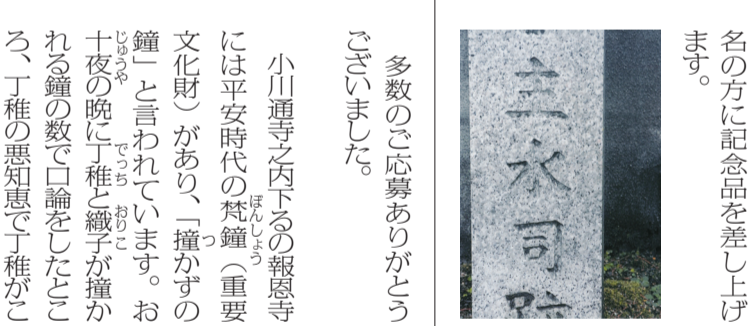
暮らしの行政のご相談  
日時 11月13日(火) 午後1時30分～3時  
場所 地域力推進室(広聴担当)(校舎棟⑩番窓口)  
※京都府行政評価事務所 ☎21-1100

## 滞納市税の一扫を目指して! 11月及び12月は「滞納整理強化期間」です

本市では、納税の公平性と市税収入を確保するため、滞納市税の徴収強化に努めています。そのため、11月及び12月の2か月間を市税の「滞納整理強化期間」として設定し、全市で集中的に市税徴収の取組を進めていきます。この期間中は、昼間や平日に不在の方を対象とした、夜間・休日の納税催告等を実施します。また、納付に進展がない滞納者に対しては、法令の規定に基づき徹底した財産(預貯金、給与、生命保険、不動産、動産等)調査や差し押さえを行い、差し押さえた財産のうち公売可能なものについては、公売を実施し、滞納市税の徴収に努めます。特別な事情があって市税の納付が困難な場合は、納税相談を受け付けておりますので早急に納税課までお越しください。  
☎=納税課 ☎441-5096



## ここはどこ? 第199回



前回の正解は 報恩寺の梵鐘です。  
正解者の中から、抽選で3名の方に記念品を差し上げます。  
ヒント 近くに現代の同じ役所があります。  
はがきに、答えと住所・氏名・年齢・本紙への感想等(感想は紙面に掲載の場合あり)を記入のうえ、〒612-8511 上京区役所「かみきょう」係まで、締切りは10月31日(消印有効)。  
多数のご応募ありがとうございます。  
小川通寺之内下るの報恩寺には平安時代の梵鐘(重要な文化財)があり、「撞かすの鐘」と言われています。お十夜の晩に丁稚と織子が撞かれる鐘の数で口論をしたことが、丁稚の悪知恵で丁稚が口論に勝ちました。織子は負けた悔しさをこらえて自害し、その菩提を弔い供養する意味で除夜(ぼんしょう)の大法要の時以外は撞かれなくなると言われています。また、ここには絵の虎が夜中に鳴き出し、豊臣秀吉が返してきた「鳴虎の図」も伝えられています。(1)